

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 南出 貞子

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>令和6年能登半島地震から見る防災対応について 各町での自主防災組織の再確認の必要性について 1月1日の地震を機に「自分の命は自分で守る」ことが大切であると認識した。そこで、防災意識の再確認として、各町への防災意識高揚の働きかけがいま一度必要ではないのか。モデル地区を定めて、意識啓発を喫近の課題として進める必要があると思うが、所見を問う。</p>	
	(2)	<p>避難所における備蓄品について 今や加賀市もいつ何時、市全体が被災地になるか予断を許さない。そこで、各指定避難所にはすぐに対応できる備蓄品、例えば、ベッド・トイレ・毛布などが必要だが、レンタル契約なども含め、常時、備蓄する想定としてどこまで準備しているのか。</p>	
2	(1)	<p>若者活躍支援事業について (仮称)「加賀市婚活推進機構」事業について 設立支援費として15万5,000円を予算計上しているが、どのような団体が参画を予定しているのか。</p>	
	(2)	<p>若者の地域活動に関する支援について 若者が担い手となって人口減少に歯止めをかけ、地域活性化を図るとあるが具体的に若者に求める活動等を示せ。</p>	
3		<p>誰一人取り残さないプロジェクトについて 旧三木小学校に移転した加賀市教育総合支援センターの不登校支援機能を強化することを目的に教育総合支援センターの機能強化費として、2,548万円の予算が計上されている。対策として具体的な事業内容を示せ。</p>	
4		<p>加賀温泉駅前のギャラリーの変更について ギャラリーの建物が従来のものから変更になったと聞いており、また、新聞にも報道されていた。変更になった経緯と市民への周知について問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 南出 貞子

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
5	<p>中学生・高校生の校外学習について</p> <p>大聖寺実業高等学校の生徒から、毎月、「総合的な学習の時間」にバスで介護施設へ出向き、春はお花見、夏は七夕、秋はハロウィンで仮装、冬はクリスマスなどのイベントを入居者と楽しく過ごすことで、介護に対する認識を新たに、興味を持ってもらう機会にしてはどうかとの提案があった。この提案を実現するためには、市・施設・学校との連携や調整が必要だと思われるが、事業実施に向けての所見を問う。</p>	
6	<p>(仮称) 萬松園公園上にある廃業旅館について</p> <p>長年の懸案事項であった(仮称)萬松園公園整備は、令和7年秋頃に完成を目指して着々と進んでいる。しかし、公園の頂上には、2棟の廃業旅館と1棟の宿舎があることによって、せっかく、登り詰めてからの山代温泉を含む加賀市一帯の眺望がかすんでしまう。これまでも諸般の事情は何度も聞いているが、いよいよ期限を切ったの対策が必要である。今後の対応について所見を問う。</p>	
7	<p>加賀海岸シーサイドトレイルランの開催について</p> <p>昨年、加賀温泉郷マラソンが廃止され、当時は参加者各位からも残念がる声があったと聞いている。しかし、今年8年目を迎える「加賀海岸シーサイドトレイルラン」が4月6日に参加者約600名により開催される。3月16日北陸新幹線加賀温泉駅開業も踏まえ、加賀海岸をアピールし、加賀市の誘客につながると考えるが、来年に向け、市から何か支援ができないか。</p>	